

## 取 扱 説 明 書

P H C - 6 型 ( O R C - 6 型 ) P H ( O R P ) 調節計

### 1. 規 格

	p H 計	O R P 計
型 式	P H C - 6	O R C - 6
測定範囲	0 ~ 1 4 p H	± 7 0 0 m V
測定精度	± 0.1 p H	± 2 0 m V
記録計出力	± 5 0 0 $\mu$ A , 2 0 0 $\Omega$ 以下	左 IC 同じ
警報接点	上限及下限共 1 a b	左 IC 同じ
接点容量	A C 2 5 0 V , 5 A	左 IC 同じ
電 源	A C 1 0 0 V 5 0 H z / 6 0 H z	左 IC 同じ
消費電力	5 V A 以下	左 IC 同じ
重 量	約 3.1 kg	左 IC 同じ
周 围 温 度	0 ~ 5 0 °C	左 IC 同じ
相 对 湿 度	8 0 % 以下	左 IC 同じ

### 2. 本器の設置場所及び取付方法

本器はなるべく次のようなところに設置して下さい。

- a 温度変化の少ない場所(周囲温度 0 ~ 5 0 °C)
  - b 腐蝕性ガスのないところ。
  - c 乾燥したところ。
  - d 振動のないところ。
  - e モーター等の電気機器より離れているところ。
- 取付方法(第3図参照)

パネルの裏面より添附の取付金具により、パネルに固定します。

3. 電気配線 ( 第 2 図 参照 )

G L A S S ガラス電極 ( 金屬電極 )

R 比較電極

E アース電極があるときはアース電極

$T_1 - T_2$  溫度補償電極があるときは溫度補償電極を接続し、無い

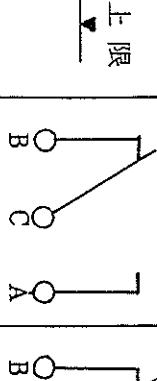
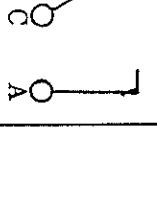
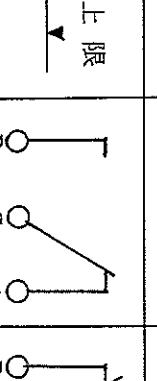
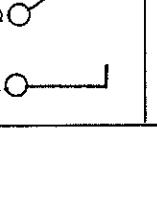
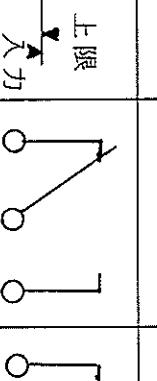
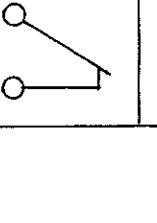
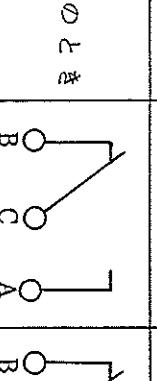
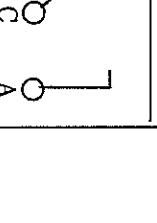
ときは添付してある抵抗をそのまま接続しておく。

- R E C O R D + 記録計を付けるときは記録計を接続し、記録計が不要の

ときは添付してある抵抗をそのまま接続しておく。

A C 1 0 0 V A C 1 0 0 V , 5 0 H z 又は 6 0 H z の電源を接続する。

接点回路は下図の通りです。

入力信号及設定位置	下限 L	上限 H
下限 上限 ▼ ▲ 入力		
下限 上限 ▲ ▼ 入力		
下限 上限 ▼ ▲ 入力		
電源“切”のとき		

注意 1. 指示部と検出部を離れて設置するときは、専用の延長ケーブル及びコネクタボックスを使用して下さい。

2. 延長ケーブルを使用の際ガラス電極用のリード線としては、延長ケーブルの芯線の中、高絶縁の芯線（半透明）を使用して下さい。  
他の芯線を使用すると絶縁不良を起し、指示に誤差を生じます。

3. 電極用のケーブルは、他の動力線と別の配管で配線して下さい。

#### 4. 計器の整備運転方法

配線が完了したら次の点を再確認して下さい。

- a 結線のミスはないか。
- b 電極の先端のゴムキャップは外してあるか。
- c 制御回路に容量以上の負荷が接続されていないか。
- d 「警報出力」のスイッチは切ってあるか。
- e 指示計は pH 7 を指示しているか、狂つていれば計器本体の部分の零調整をドライバーで廻して pH 7 に合わせて下さい。
- f 中央の測定のシマミは、左側へ一ぱい廻し、パチンとスイッチが、動作するまで廻してください。

以上の点検が終ったら電源を入れて、次の動作を確認して下さい。

- a 電極を入れて数分たつたら、「入力短絡」の押ボタンスイッチを押して下さい。  
その時の指示計の指示が、pH 7 ± 0.2 pH の範囲を指示していれば、指示部の動作は正常です。

#### 5. 標準液による校正

計器は使用する電極の特性により、指示が多少異なるため、測定前に標準液の校正を行います。

##### 校正手順

- a 電極を純水で洗った後、pH 7 の標準液に電極を入れてよく攪拌して下さい。  
指示が一定値に安定したときの指示が、pH 6.8 ~ 7 を指示していれば零調整は不要です。狂ついたら零調整用のボリュームを廻して、標準液のその温度の pH

値に合せて下さい。

- b 次に電極を純水で洗った後、pH 4（又は pH 9）の標準液に入れてよく攪拌して下さい。指示が一定値に安定したときの指示が、pH 4（又は pH 9.2）を指示すれば正常です。狂っていればスパン調整用のボリュームを廻して、標準液のその温度の pH 値に合せて下さい。

c 注意

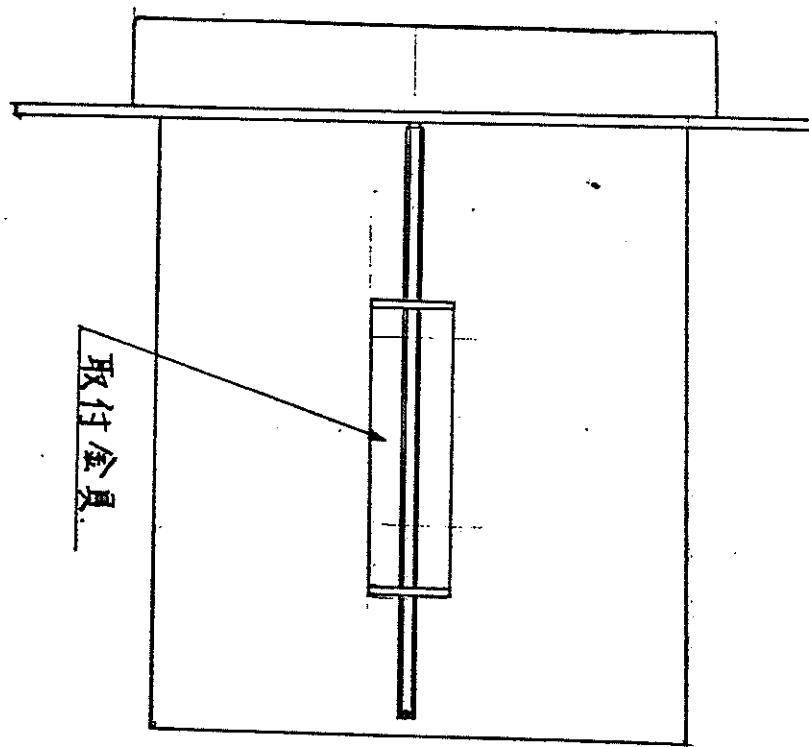
- (イ) 標準液の校正を行うときは、電極を純水でよく洗って下さい。  
(ロ) 標準液の校正を行うときは、「警報出力」のスイッチを切っておいて下さい。

6. 上限及び下限の警報の設定値の決定

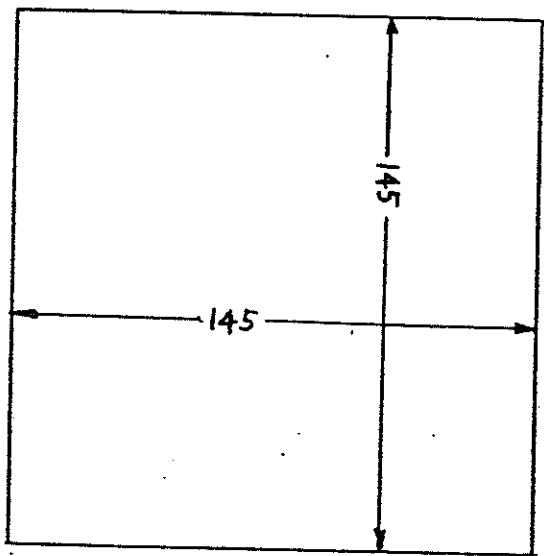
上限及び下限の警報の設定値の決定は次の手順で行って下さい。

- a 中央の測定のツマミを右に廻すとパチンとスイッチが動作し、指示計が左に振れますので、そのつまみを廻して上限（又は下限）の設定しようとする値に指示させます。
- b 次に上限（又は下限）設定のツマミを静かに廻して、リレーが動作する点を決めます。リレーが動作すると表示灯が点灯するのでわかります。
- c 上限及び下限の設定値が決定したら、ツマミを左に一ぱい廻してパチンとスイッチが切れるまで廻しておく。
- d 注意 中央の測定のツマミを廻しているときは、リレーの接点出力は動作しないようになっているから、「警報出力」のスイッチを「切」にしておく必要はありません。「切」にしておくと、上限下限の表示灯も点灯しなくなります。

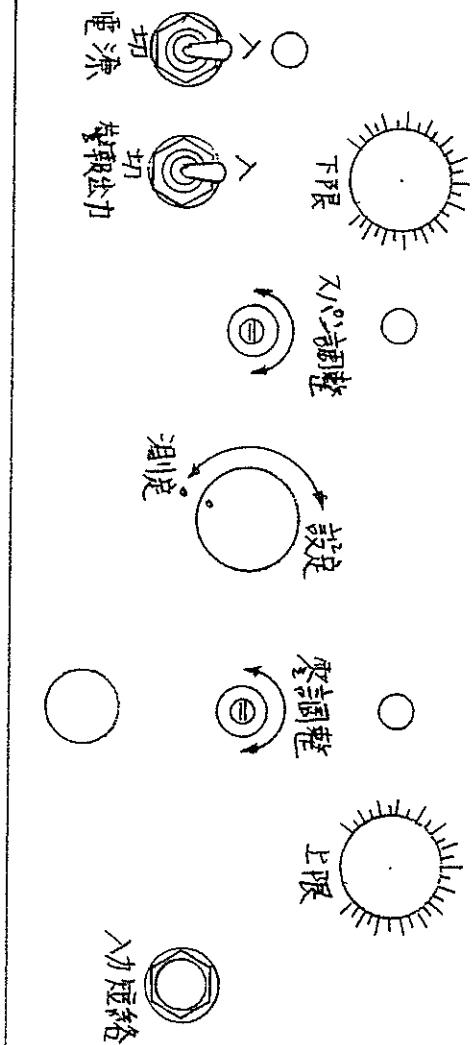
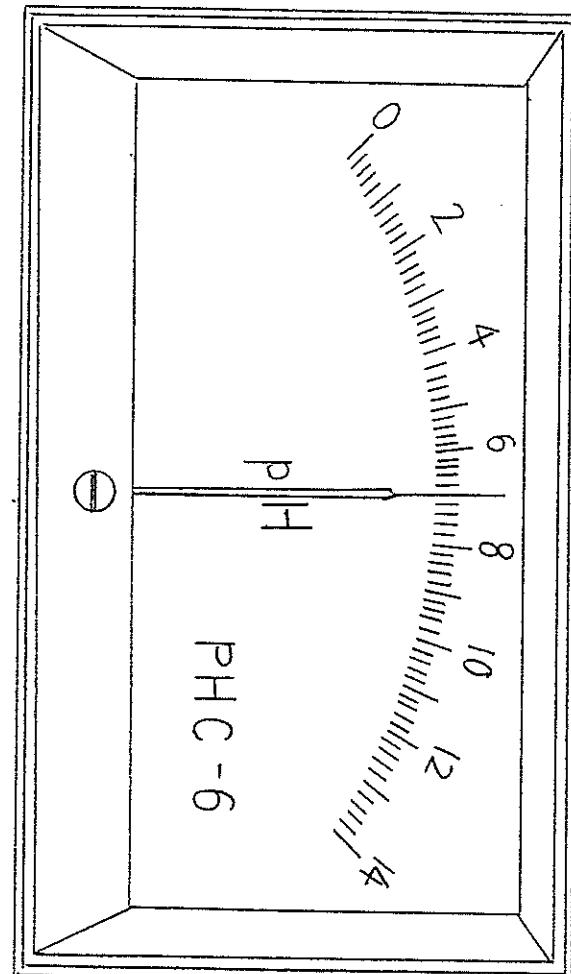
第3圖 パネル取付及バネルカット



バネルカット



第1回 前面図



第2回裏面図

